

2013年6月21日

中学校給食についての検討委員会設置を求める陳情

川崎市教育委員会委員長 裕 正人 様

川崎市幸区中幸町 4-10

ゆきとどいた教育をすすめる川崎市民の会

代表 櫻井 悦

陳情の趣旨

私たちは、今年2月に、中学校完全給食の実現（他2項目）をめざし、14043名の賛同者で市議会に請願（58号）を提出しました。さる6月14日、市議会総務委員会で請願の審議が行われました。同委員会には、「市立中学校の完全給食実施に関する陳情」（111号）がPTA協議会から22376名の賛同で提出されており、一括審議されました。

総務委員会の審議の結果、請願58号と陳情111号は『継続審議』の扱いとなりました。その『継続審議』の意味は、平成23年3月16日の市議会の全会一致での「中学校完全給食の早期実現を求める決議」によって市議会の意思は明らかであり、教育委員会がその決議を受け、真摯な討論と検討をするのを待ちたいということです。

6月14日の審議では、各委員から、中学校での完全給食を実施すべきであるとの発言があいつぎ、市教委の『お弁当を基本とし、その補完としてランチサービスを実施していく』との現制度維持についての賛成意見はありませんでした。

中学校給食を実施すべきかどうかを検討するのは、市議会ではなく、教育委員会の大事な役割だと考えます。教育委員6名のリーダーシップのもとに、川崎市において中学校給食実施が是非かを検討する場を設置し、早急に検討を開始してください。



陳情の項目	
1、	教育委員会の定例会で、中学校給食の実施の是非について議題として取り上げ、真摯な検討をしてください。
2、	教育委員会の責任で、中学校給食検討委員会を設置し、教職員、保護者、市民からの意見を聞き取り、検討を進めてください。